

令和7年度 総合的な学習の時間全体計画 江戸川区立二之江中学校

校長名 千野 裕司

名称:総合的な学習の時間

学校の教育目標	「いま」「ここ」で頑張る生徒を育てる。 ・健康で心豊かな人 ・自ら学び実行する人 ・協力し合い責任を持つ人
---------	--

国が示す総合的な学習の時間の目標
探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 (2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標
1 学び方やものの考え方の基本を身につけ、学習に取り組む姿勢を育成する。 2 自ら課題を見出し、探求心をもって主体的、創造的に取り組む力を育む。 3 人としての生き方を考える場として、目標を持って自らの進路を切り開くための力を育てる。

育てようとする資質や能力及び態度		
知識及び技能		
第1学年 それぞれには特徴があり、多種多様に存在している(多様性)	第2学年 互いに関わりながら、よさを生かしている(相互性)	第3学年 物事には終わりがあり限りがある(有限性)
思考力、判断力、表現力等		
第1学年 目的に応じて手段を選択し、情報を収集する	第2学年 課題解決を目指して事象を比較したり、因果関係を推測したりして考える	第3学年 学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に活かそうとする
学びに向かう力、人間性等		
第1学年 自己の将来を考え、夢や希望をもつ	第2学年 自らの生活の在り方を見直し、日常的に実践する	第3学年 目標を明確にし、課題の解決に向けて計画的に行動する

内 容	学習対象	学習事項
第1学年	・自分を知る ・身近な環境(江戸川区)を考える ・身近な職業調べ、職業講話、職場訪問 ・ビブリオバトル	・自己理解と自分の将来に関心を持つ ・地域の伝統や文化の理解 ・働くことに関心を持つ ・読書への関心を高める
第2学年	・自然環境と農業体験 ・自己の生き方を考えた職場体験 ・上級学校調べ	・自然のすばらしさと大切さ ・働くことの意義と将来の目標 ・自己の目指す上級学校 ・言語文化に親しみ、言葉の感覚を磨く
第3学年	・日本の文化と歴史の探求 ・地域の中の自分を考える ・各自の進路へ向けた活動 ・論文の書き方、論評やプレゼンの仕方	・伝統や文化の持つ特徴とその歴史的背景 ・福祉やボランティア体験 ・基礎学力の充実と適正な進路選択 ・論理的な思考力、判断力、表現力等を高める

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・1学年は「自己を知る」、2学年は「自己を活かす」、3学年は「自己を伸ばす」を学年テーマとする。 ・自然体験や社会体験を通して自己の生き方を追求していく。 ・持続可能な開発のための教育(ESD)をする。	・問題解決や探求活動に取り組ませる。 ・体験的な活動を重視する。 ・地域のゲストティーチャーによる講義を行う。	・校内の全体指導体制の確立と学年間の連絡調整を充実させる。 ・地域人材を活用する。	・評価の観点及び評価規準を設定する。 ・評価資料の充実を図る。